

No. 184
2018. 1

ねば
広報

— 私たちの村 —

人口と世帯 30年1月4日現在

総人口	952人
男	465人
女	487人
世帯数	417世帯

村の木 す ぎ

村の花 岩つつじ

発行 根羽村役場
〒395-0701 長野県下伊那郡根羽村1762
TEL 0265-49-2111 FAX 0265-49-2277

ホームページアドレス <http://www.nebamura.jp>
メールアドレス info@nebamura.jp
印刷 龍共印刷株式会社



**少年少女消防クラブ員も
消防団と同じ隊列に入り、
市中パレードに参加しまし
た。**

※詳細は5ページ

— 1月号の主な内容 —

村長年頭あいさつ	2ページ
議長年頭あいさつ 他	3ページ
12月議会だより	4ページ
出初式 他	5ページ
福祉と健康の集い 他	6ページ
みなみ信州駅伝大会 他	7ページ
成人式 他	8ページ

年頭ごあいさつ



根羽村長

大久保 憲一

新年あけましておめでとうございます。平成30年の新春を迎え、村民の皆さんのご健勝を心からお慶び申し上げます。また日頃から温かいご支援とご協力によって、元気で安心して住み続けられる村づくりを進めることができましたことに、改めて感謝と御礼を申し上げます。本年も、村民の皆さんが安心して安全に暮らせる地域を、皆さんと一緒に作って作ってまいれる所存でありますのでよろしくお願い致します。

さて、昨年は7月の「九州北部豪雨災害」や、台風21号、22号など自然災害が多発し、各地で尊い命が失われ多くの方々が被災されました。改めて関係者の皆さんにお悔やみとお見舞いを申し上げるとともに、一日も早い復旧・復興を願うところであります。幸

いにも当村では大きな自然災害等の発生もなく、比較的穏な1年であったことに安堵するところであります。ただ、最近では局地的なゲリラ豪雨等によって、大きな土砂災害等が発生することが危惧されています。砂防堰堤等のハード整備はもちろんのこと、いざという時に備えての避難等のソフト面の充実についても、様々な機会を活用し村民の皆さんの安全対策に取り組んでまいりたいと考えています。

さて、現在の役場庁舎は昭和44年の建設以来48年が経過しており、村民の皆さんの意見を伺う中で、大畑のしゃくなげに移転改築することが決定し、昨年より工事に着手しました。新庁舎は、村民の皆さんがゆつくりとくつろげるホールや、事務スペースも比較的広く確保され、議場も可

動式設備としていたため、多目的に利用できるようになっていきます。今年の夏頃には、新しい庁舎で業務ができるように考えています。役場庁舎は、村民の皆さんに気軽に訪れて頂き、交流や憩いの場として利用しやすい場所とするともに、災害時には防災の拠点として村民の皆さんの安全を確保する機能も、しっかりと整備したいと考えております。

さて、ここで昨年1年間の村の出来事を振り返ってみていきたいと思います。村内のほぼ全域の森林を対象に、適切な森林管理を行うための「FM認証」と、森林組合がその材を適正に加工販売する「COC認証」の認定を受けました。根羽村から搬出される木材は、適正に管理された森林から搬出され、適正に管理された材の加工販売がされていることが保証され、当村の目指す「トータル林業」が、より一層充実したものとなりました。また、2020東京オリンピック・パラリンピック「日本の木材活用リレー」に根羽スギを提供することが決定しました。これは選手団の歓迎式典や店舗、カフェ、メディアセンター等が入る「選手村ビレッジプラザ」に、全国から借り受けた

木材で施設を建設し、大会終了後はそれぞれの自治体でレガシーとして利用することとなっており、全国の62の自治体からなる41事業体に参加することとなっています。オリンピックに木材提供という形で参加できることを大変嬉しく思うとともに、地域材を利用した施設で根羽スギが活用され、多くの皆さんに見て触れて頂けるというPR効果は大きなものがあり、期待を寄せているところであります。また新たな雇用拡大施策として、Uターンの若者がトマトハウス栽培を始めたこと、林地で通年放牧を行う山地酪農にIターンの若者が取り組み始めたこと、遊休農地の活用等に取り組む地域おこし協力隊員が着任するなど、農業振興面での新たな取り組みも始まりました。また、「地域の存続」と「保育所、小中学校の存続」は一体であると考えています。

村で育つ子供達にとって学力向上はもちろんのこと、豊かな感性や心を持つて伸び伸びと何事にも挑戦することができると、小規模校のスモールメリットを活かした、根羽村ならではの魅力ある教育を進める必要があると思っております。「信州やまほいく」や「義

務教育学校」などについて、村民の皆さんとしっかりと議論研究し、最善の方策をとってまいりたいと考えています。また、子育て支援や村民の皆さんの健康増進や福祉事業等についても、それぞれ内容を充実して進めることができました1年であったと思います。

2027年にはリニア中央新幹線が開通し、三遠南信自動車道の整備も進む中で、大きく交通環境が変化します。こうした中で、個性と魅力ある地域づくりが必要であり、地域資源を最大限生かす「雇用・経済・サービスの循環」と、矢作川流域連携による地域づくりを進めてまいります。本年も村民の皆さんの意見をしっかりと聞きし、村民の皆さんが根羽村に「誇り」と「自信」を持つて生き生きと生活できるよう、様々な取り組みを積極的に進めてまいりたいと考えていますので皆さんのご理解とご協力、ご支援をお願い申し上げます。平成30年が根羽村にとって、そして村民の皆さんにとりまして幸多き年となることを心からお祈り申し上げ新年の挨拶と致します。本年もよろしくお願い致します。



根羽村議会議長

原 光 史

新年あけましておめでとう
ございます。

平成30年の輝かしい新春を迎え、心からお喜び申し上げます。

本年も村民の皆様のご期待に副えるよう努め、より良い根羽村になりますよう邁進いたす所存ですので皆様の暖かいご理解とご支援ご協力をお願い致します。

昨年を振り返りますと、世界各地では、引き続き紛争が止まない地域もあり、一日も早い国際平和を祈るばかりです。また、国内にあつては、全体的には景気が良くなっているとの判断もあるようですが、地方においてはまだまだ実感がうすく、更なる景気浮揚を期待したいところであります。一昨年の参議院選挙に続き、昨年の衆議院選挙においても自民党を中心とした与党が大勝したわけでありますが、これまで進めてきた「地方創生」への取り組みの更なる前進に期待し、注視して参りたいと思います。

役場移転の前に巨大地震が発生しないことを祈るところであります。

次に、昨年は林業振興に向けた取組みの1つとして「森林認証」を取得しました。この事により、軽井沢駅舎や東京オリンピック選手村ビレッジへの根羽スギの活用が決まりました。これを機に、根羽材使用が全国へ浸透する等更なる村の林業振興につながることを期待したいと思えます。

又、小中学校の生徒数減少も、喫緊の課題の1つであります。生徒の確保、教育の充実に向けて、根羽の学校への転校を促すような対策として安城市の小学生を対象に実施する「山の小さな学校体験事業」や小中一貫校の取組についての研究も始まりました。

次に、ふるさと納税への取り組みであります。根羽村では平成19年から「水源の郷基金」として寄附の受入を始め、10年間で3千万円余の寄附を頂戴しました。改めてご寄附頂いた多くの皆様に感謝申し上げます。返礼品制度の導入と併せ、インターネットによる寄附の受付を始めた昨年6月以降は全国各地からより多くの方に寄附をいただける様なり、寄附金額の増加とあわ

せ、村の特産品のPRにつながっていくものと期待してまいります。

又、山地酪農も昨年から具体的に取組みだしております。折山のネバーランドの手前の山林を切り開き、イターンの酪農家により、希少種である「ジャージー種」一頭の自然放牧が始まりました。今後は徐々に数を増やしていく予定だとお聞きしており、今後も村内で酪農が維持、発展する事を期待したいと思えます。

飯田下伊那地域の10年後を見据えますと、三遠南信自動車道、リニヤ新幹線が開通し

大きな変化をもたらすことは確実であると思えます。その環境の変化に私達の村の指針を見間違えることは出来ません。今後議会といたしまして、村民の皆さんや行政と一緒に将来の根羽村を考えていく所存ですので、何卒皆様の貴重なご意見やご提案を頂きながら、より良い村づくりに邁進いたす所存ですのでよろしくお願い致します。

結びに、平成30年が根羽村と村民の皆様にとりまして幸多き輝かしい年となることをお祈り申し上げて新年の挨拶と致します。

防 犯 診 断 結 果

昨年12月22日から30日までの間、村内全域において住宅棟の戸締まり、車輛等の施錠の状況等の防犯診断を防犯指導員が実施しました。結果を見てみますと少数ではありますが未だ施錠されていない住宅、車両が確認できます。下伊那管内でも空き巣や盗難、車上荒らしの被害が発生しています。日頃から防犯意識を高め、犯罪に巻き込まれないようにしましょう。

診断日：平成29年12月22日から30日

地区名	住宅診断			車 両 診 断						備考
	診断総数	施錠済み	未施錠等	診断総数	施錠済み	ドアに施錠なし(A)	(A)のうちキー付	(A)のうち貴重品あり	施錠済みだが貴重品有	
北洞計	21	18	3	15	15	0	0	0	0	
中央計	56	56	0	51	45	6	1	2	2	
東洞計	20	20	0	26	26	0	0	0	0	
南洞計	16	14	2	8	8	0	0	0	1	
西洞計	44	44	0	44	44	0	0	0	0	
計	157	152	5	144	138	6	1	2	3	0

※この診断は国県道や村道の住宅の密集しているところを中心に実施しました。

議会だより

12月定例会

一般会計補正予算等

10議案について審議

12月12日・19日の2日間にわたり、12月定例会が開催されました。内容については、次のとおりです。

一般質問

◆南木一美議員

質問 介護保険・社会福祉施策に関して（第7次介護保険計画の骨子・概要・重点項目について）

回答 介護保険計画は3年毎に計画を見直す事になっている。第5・6次の計画では①生きがいを持つていきいきと活動して互いに支え合える地域づくり②住み慣れた地域で安心して生活を続けるための生活支援体制の充実③自分らしく生活するための住民ニーズに応じた支援体制の充実の3点を重点項目として取り組んできました。第7次介護保険計画の策定については、今年の2月に高齢者の皆さんの実態調査を既に実施しています。この内容を詳しく分析しながら住民ニーズを把握してこれから示される県の計画と合わせて策定を進めていきたい。取り組む重点事項は大きく変わる事はないと考えているが、特に在宅医療、介護連携や認知症施策については新たに追加する必要があると考えている。

質問 森林認証取得した今後の森

林・林業施策に関して

①循環型の森林経営について

②木材のカスケード利用について

③林業の継続的な人材確保について
信州大学との連携協定を含めた学術・研究機関との関わり方

回答 ①持続可能な森林を保持していくためには計画的な伐採、植栽が必要である。今後、択伐による樹下植栽や小規模な帯状伐採などの取組が重要と考える。村でも、小戸名の村有林で低コスト造林の試験を実施しており、循環的な資源づくりは必要である。また、森林の持つ公益的機能を発揮するためには計画的にゾーニングされた森林づくりが必要で根羽村では里山林、生産林、環境林の三つのゾーニングを考えた森林づくりを目指していく。

②材のカスケード利用の考え方としてまず、建築用材として木材の大部分を有効利用する。それ以外の山に放置してある木材を使いきるには、例えば家具として活用する、或いは木のおもちゃとしての活用、更に木の駅プロジェクトでの木質バイオマスとして利

用するなど一本の木を全て使うカスケード利用は、非常に重要な部分である。このことで、木材を通じて地域や経済の循環に繋がると考え必要であることからこれからも取り組んでいく。

③信州大学とは、平成23年から産業振興、人材育成や環境保全など様々な分野で連携を行っている。大学の研究フィールドとして提供したり、森林GISの最新技術を昨年度で導入し、運用について指導を頂いている。今後も、技術や知識の吸収も含めて人材の確保についての交流を深めていきたい。

◆下井敦志議員

質問 村の保育の今後の方針として信州型自然保育の導入について

回答 根羽村の保育理念は村の恵まれた自然や暖かい人情、風土の中で子ども達が心身共に伸び伸びと育つ事を願って子ども達の最善の利益を考え、地域の皆さんと連携を図りながら、保護者の皆さんと共に子ども達の自立していく力を養う事を理念に行っている。信州型自然保育は、根羽村で取り組んでいる運営方針とまさに合致している制度だと理解している。この制度の内容を更に充実し、子ども達が伸び伸びと育つ保育環境を今後、整備していきたい。この信州型保育制度の導入に当たり保護者の方のご理解を受ける中で、早い時期に体制を整え、早期に導入していきたいと考えている。

質問 小中一貫教育、義務教育学校について

専決処分承認

◆平成29年度根羽村一般会計補正予算（第5号）の専決処分の承認について
衆議院議員選挙費により305万円を追加し、総額21億9210万9000円余となりました。

条例

◆根羽村議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

◆根羽村特別職の職員で常勤の者等の給与に関する条例の一部を改正する条例

◆一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

◆根羽村職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例

人事院勧告に基づいて、期末手当率等の改定がされました。
◆茶臼山研修拠点施設設置及び管理に関する条例

補正予算

◆平成29年度根羽村一般会計補正予算（第6号）
環境林整備事業費等により、3954万99円を追加し、総額22億3165万8000円余となりました。

◆平成29年度根羽村下水道特別会計補正予算（第2号）
根羽地区処理場管理費により、70万2000円を追加し、総額6497万9000円余となりました。

◆平成29年度根羽村介護保険特別会計補正予算（第3号）
居宅介護サービス事業費等1209万3000円追加し総額2億843万2000円余となりました。

その他

◆平成29年度CATV施設整備業務請負契約の締結について
庁舎の移転に伴うCATVの設備の新設に係る工事の契約について、承認がされました。

◆北設広域事務組合規約の変更に
ついて
北設広域事務組合の介護の認定調査等の事務について改正がされました。